

## 第41号



題字の揮毫  
 弥富町長  
 川瀬輝夫氏に  
 よるものです。

社会福祉 弥富福社会  
 法人

特別養護老人ホーム 輪中の郷  
 デイサービスセンター 輪中の郷  
 指定居宅介護支援事業所 輪中の郷  
 弥富町デイサービスセンター  
 弥富いこいの里南デイサービスセンター

〒498-0000  
 愛知県海部郡弥富町大字大藤5番地の3  
 TEL (0567) 65-5531  
 FAX (0567) 65-5536  
 E-mail wajyu@rudy.ocn.ne.jp  
 URL http://www.yahuku.or.jp/

## 理事長就任の

## ご挨拶



長嶋 誠

下村尚一先生は多くの地域の方々と共に輪中の郷設立に尽力され初

代理理事長とし長年にわたりその運営に活躍されました。一方医師と

して入所者(輪中の郷では敬意と親しみを込めて住人さんと呼んで

いるとのこと)の健康管理にも熱意を持って取り組んでこられました。「住人さん」に提供する

サービス内容も年々充実し地域の信頼を得るに至っています。それ

だけでなくショートステイ、デイサービス等の居宅介護サービスも

行い弥富町を中心とする地域高齢者福祉にとって輪中の郷はその中

核となってきました。

この度輪中の郷の理事長を下村先生から引き継ぐ事となりました。

私は下村先生と同様に海南病院長を長年勤めました。この経験が施

設の管理運営に役立つのではないかと、又嘱託医として海南病院との

連携がスムーズに行くのではないかと思われているようですが、

確かに病院で訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、デイ

ケア、在宅介護支援センター等高齢者福祉事業に関わって参りま

した。しかし病院はなんと云っても疾病治療を中心とする非日常の

治療施設です。生活の場より治療の空間です、提供するサービスも

介護施設とは全く異なっています。住人さん達の要望が本当はどんなものだろうか、といささか戸惑っている処です。

障害を持ち介護を必要とする「住人さん」にとって安全で快適でなおかつ楽しい日常生活の場とは、病院とはかなり異なっていると思います。其処は「住人さん」の生活の拠点でもあります。私はいささかの戸惑いがありますが、輪中の郷には十余年の経験の積み重ねがあります。現場の職員の知識、経験、実践の中で学んできたものを教えられながら、高齢者福祉の現場で経験を積み、「住人さん」にとって住みやすい輪中の郷を作り上げていきたいと思えます。高齢社会の中での施設運営はこれから多くの困難に直面することと思います。職員の創意工夫、地域の皆様のご援助、ご協力、ご理解を頂きながら努力したいと思っております。

# 【今年度の取り組みと課題】

渡辺 清

## ※始めに

介護保険制度がスタートし5年が経過しました。

5年間に利用者が予想以上に増加し介護保険料の徴収と給付のバランスが大きく崩れ、介護制度の継続が危ぶまれる事態とされています。

このため、制度の改定案が2月に通常国会に上程され、7月成案の発表に向け  
 ・要支援、介護度1を居宅サービスから除外し、新予防給付に転換する。  
 ・施設入所者にかかる介護給付のうち、居住費・食費について本人負担とする。  
 ・介護保険料納付の年齢の引き下げ及び保険料の見直しなどが審議、検討されています。

## ※事業計画の継続

前記のように、制度の大幅改定を控えていますので、今年度の事業計画を新たに立てず、当面の間昨年ものを継続し、成案発表後に改定内容を見て新事業計画を立て、改定後の制度に備えることにしました。

日々のサービス提供に支障を

生じないよう努めますので、ご理解賜りたいと存じます。

## ※ホーム共同生活の充実

一昨年4月より「共に暮らそう」を合言葉に共同生活が始まりました。「職員が住人さんにとだけ寄り添うことが出来るか」という2年間の取り組みの中で培った経験と失敗を生かし生活支援に携わる人間のスキルアップ、新人研修をはじめとした人材育成に努め、認知症への対応、あらゆる拘束、排泄等への取り組みを見つめなおし、より一層の充実を図っていきます。

## ※ホームの食事提供方法の変更

昨年から管理栄養士がユニットに担当職員を派遣する方法を行っています。

住人さんの一番の楽しみである「食」に対し、栄養士、調理士のみではなく、直接住人さんにかかわる職員の情報を取り入れ、個々の状態に合わせた食事提供に努力していきたいと思えます。

## ※住人さんの健康管理

ホームの健康管理は嘱託医をはじめ、看護師4名が行ってい

ます。

年々高齢、重度化により平均介護度が4に近づきつつあり、今後も一層の重度化が予測されますので、住人さんの健康状態には細心の注意を図り、必要に応じて病院受診をしながら万全の体制で健康管理に努めていきます。

## ※終末期の看取り

終末期を迎えられた住人さんに対し、ご家族が希望されれば出来る限りの援助をしながらホームで安らかに生活を送っていただきます。

## ※自立支援の充実

歯科衛生士による口腔衛生と、非常勤理学療法士、機能訓練指導員による機能訓練を通じて自立支援の援助を図ります。4月からは機能訓練指導員（看護師）を1名増員し、短期入所利用者に対しても更に充実したサービスを提供していきます。

## ※事故・ニアミスの防止

ユニット方式になり目がよく届くようになりましたが、依然として事故・ニアミスが目立つて減少しておりません。リスクマネジメント委員会で原因を検証し再発防止に努めます。

## ※感染予防と緊急時の対応

住人さんの高齢、重度化により常に感染症への罹患および急

病などの心配がつきまといますが、対応マニュアルを常に再確認し万全を期していきます。

## ※短期入所の充実

昨今では重度の方や医療依存度の高い方が多くなり、現利用者の方も加齢と共に機能低下がみられます。よって、以上の情報収集と介護技術および観察力の向上を図り、より質の高いサービスが提供できるよう努めます。

## ※デイサービス

3か所とも曜日にかかわらず年間休みなくサービスを行っています。（但し、12/31と1/3は臨時休業）今後の介護保険制度の動向を見極め、新たな課題への取り組み及びより質の高いサービス提供に努めます。

## ※居宅介護支援事業

昨年より介護支援専門員が2名体制となり、よりきめ細かな支援サービスが展開できるようになりました。

## ※終わりに

ご本人、ご家族からの気軽なご相談をお待ちしています。  
 当法人は、弥富町民の総意で設立された経緯を念頭に、町民福祉最優先を忘れず、常に前進します。変わらぬご支援を賜りますようお願いする次第です。  
 （施設長）

# 入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた3人の方を紹介します。



伊藤一男さんは、明治45年6月4日生の92歳です。

この度、しらかばほーむの家族になられました。そこで入所にあたり、ご本人から「ひと言」いただきました。

『この度はこの施設にお世話になることになりました。ふつつか者でございますが、皆さんのお世話になりますのでよろしくお願ひします。』

皆さん方の苦勞してみえる事(体が思うようにいかない事)は痛切に身に染みてわかりました。国としても支持、支援をよろしくお願ひ致します。

趣味ですか? 特殊な趣味はありませんが、農業がたくて作物を作り始めました。農業は好きだったな。』

と、話してくださいました。これからお元気で素敵な笑顔をたくさんみせて下さいね。



井澤幸子さんは、大正10年7月9日生の83歳です。この度、けやきほーむの家族になりました。

幸子さんは、とてもチャーミングでかわいらしい方です。笑顔もとても素敵で、その笑顔に癒されます。

3度の食事やおやつはいつもペロリと残さず食べられ、特に甘い物が大好物です。また、側で職員が歌をうたっていると、ときどき一緒に口ずさんでくれたり、リズムをとってくださいます。

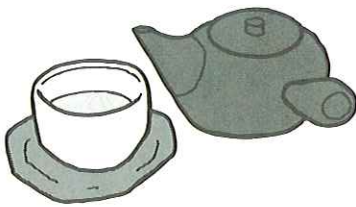
これからも御飯をいっぱい食べて元気で過ごして下さいね。そして一緒に、たくさんの歌をうたいましょう。



横井義明さんは、大正9年7月21日生の84歳です。この度、いちよほーむの家族になりました。

以前からショートステイを利用されていたため、とても馴染みの深い方です。職員の声かけに、「はい。はい。」と元氣よく答えてくださったり、他の住人さんにも優しく接してくださいます。また、素敵な笑顔と笑い声で周囲を和ませてくださいます。

これから暖かい季節になります。花見や外出などへどんどん出かけ、たくさんの景色を楽しんでいきましよう。これからお元氣で、末永くよろしくお願ひします。



# 亡くなられた方々

・浅井光義さん 六十八歳

平成十七年一月二十六日、永眠されました。

・上田清一さん 九十歳

平成十七年二月二十四日、永眠されました。

・水谷賀壽枝さん 九十歳

平成十七年三月十二日、永眠されました。

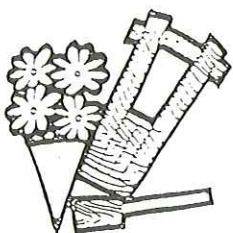
・渡邊たね子さん 九十一歳

平成十七年三月十八日、永眠されました。

・青木岩夫さん 八十一歳

平成十七年三月二十七日、永眠されました。

皆さんのご冥福をお祈りいたします。



# 新入職員紹介



服部 由美  
昭和60年2月10日生  
O型

私が福祉の仕事に就こうと思ったのは、中学3年生の時でした。高校でヘルパー2級の資格を取  
得し、更に質の高い介護を提供したいと思い介護福祉士を目指そう  
と決意しました。

一日も早く住人さんの名前を覚えて、一人ひとりに合った接し方や介護方法を考えて援助できるように頑張りたいです。

専門学校での2年間、介護の知識や技術について学んできましたが、まだまだ勉強不足な面はたくさんあります。皆様にご指導を頂  
きながら、よりよい介護を提供できるよう成長していきたいと思  
いますので、よろしくお願ひ致します。  
(生活支援員)



大野 弘貴  
昭和59年9月22日生  
O型

2段階、3段階と輪中の郷で実習させて頂きましたが、住人さんの名前や勤務内容等、まだまだ分からない事がたくさんあります。

日々働いていく中で、一日でも早く住人さんの名前や状態、業務内容を把握できるようにしていきたいと思ひます。

先輩方や施設の皆様に、いろいろご指導頂きながら頑張ってい  
き、少しでも住人さんにとって信頼していただける介護福祉士にな  
りたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。  
(生活支援員)



佐藤 陽子  
昭和59年9月21日生  
O型

私は介護福祉士の養成学校を卒業し、働かせて頂くことになり  
ました。

ユニットケアを取り入れ、住人さんのよりよい生活の場を提供することを目指し、先輩方の後ろに

続いて自分も積極的に頑張りたいと思ひます。

まだ、住人さんや職員の方の名前や業務内容を覚えることで精一杯ですが、明るく元気な挨拶や笑顔  
顔を忘れず、日々住人さんとの触れ合いを大事にしたいと思います。

皆様にはご迷惑をおかけすると思ひますが、ご指導の程よろしくお願ひ致します。  
(生活支援員)



水谷 朗  
昭和59年9月12日生  
A型

職員として常に、住人さんの安全や安楽の確保に心がけ、明るく笑って頂けるよう積極的に関わりをもつことに努めていきたいと思ひ  
ます。

そのために笑顔を忘れず、生き生きと仕事に励みたいと思ひます。未熟な点もまだまだありますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひ致します。  
(生活支援員)



林 由美  
昭和48年10月24日生  
O型

高齢化社会といわれる現在、介護保険制度も導入され、様々な福祉サービスが行われています。

この度、機能訓練指導員として働かせて頂くこととなりました。

今までの病院勤務での看護とは違い、介護という形での高齢者との関わりは初めてです。身体面は勿論、人格や今までの生活環境を理解し、個人を尊重しニーズを考え、機能訓練という形で住人や利用の皆様と接していきたいと思ひます。

元気に頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。  
(機能訓練指導員)

# ホーム入所 選考結果

3月4日(金)に第6回の入所選考を行い、要介護3以上の方について次表のとおり待機者名簿に登録し、入所順をご家族に通知しました。

津島市	男				
津島市	女	1	1	2	1
計		7	7	29	36

※16年度は、23の方が入所されました。



# 防災訓練実施

平成17年3月29日午後2時から、特養輪中の郷2階にて、防災訓練を行いました。

今回の訓練は、深夜にしたらかばほーむのミニキッチンから火災が発生したと想定し、現場と当直職員、海部南部消防署間の連絡訓練と、現場の夜勤職員が初期消火を実施し、住人さんをベッドから起こして誘導を行い安全を確保するところまで行いました。

訓練日の数日前には九州で大きな地震があった事もあり、住人さん、職員ともよりいっそう真剣に取り組みされました。

訓練自体は無事終了しましたが、災害はどのように襲ってくるかわかりません。色々なことを想定し、今後も訓練に取り組んでいきます。

(寶泉忠之)



# 退職にあたって



市川 智也

この度、一身上の都合により3月31日をもって退職させて頂きました。

2年間という短い間でしたが、とても貴重な期間だったと思います。

住人さん、利用者さん、ボランティアさん、職員：たくさんの方と出会いました。「喜怒哀楽」ほんとは色々ありました。そのなかで思い考えたことは、必ず自分のプラスになっていると思います。

2年間でしたが、働かせてくれた輪中の郷にはとても感謝しています。

ありがとうございます。

これからの長い人生、悔いのないように自分を信じて頑張っていこうと決意しています。

最後に、皆さんが毎日楽しく過ごされることを願っています。本当にありがとうございます。

(短期ほーむくすのき  
生活支援員)

# いちようほーむ

4月1日から「いちようほーむ」も新メンバーの顔ぶれで1年をスタートさせました。

眼鏡がトレードマークのほーむ長を筆頭に、個性豊かな仲間が集まり、今年度も一丸となり住人さん一人ひとりによりよいサービスが提供できるよう、力を合わせて頑張ります。

時には急ぎすぎて、周りが見えなくなってしまうかもしれません。また、道に迷い回り道をしてしまいかもしれません。でもどんなに遠回りをして、共に汗を流し働く仲間がそこにはいます。

人生の大先輩でもある住人さんに助けて頂きながら、1年間元気に乗り切っていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

(佐藤江美)

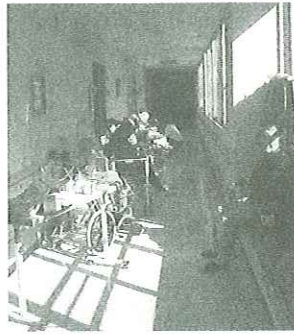
# しらかばほーむ

## 日なたを求めて

うっとりとするような陽だまりがありました。3月も半ば、しらかばほーむの廊下は、ぽっかぽかのおひさまが差し込んでいました。

だまって通り過ぎるのがもつたないいなので、住人さんにひなたぼっこをお勧めしました。

日なたを求めて住人さんと職員が廊下にズラリと並んでいます。傍目には一体どう映るだろう：とヒヤヒヤしながら職員は住人さんの笑顔を求めてひなたぼっこを勧めるのでした。

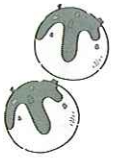


## 実演たこ焼き

目の前で焼けていくたこ焼きをじーと見つめ続ける住人さんと職員。

ホールはなんだか静かで、ジュウジュウというたこ焼きの音だけが響き、いいにおいが廊下まで広がっていく。「ああなんだかお腹が空いてきた。早く焼けないかなあー。」

住人さんと職員が奇妙な一体感を共有する時間がここにありません。



(宮崎奈々)



# けやきほーむ

## ノリタケの森へ出かけて

前日まで降り続いていた雨もすっかりあがり、外出日和となった2月27日に、マイクロバスで「ノリタケの森」に出かけました。

以前、名駅周辺で働いていた住人さんは、車窓からみえる街並みを大変懐かしそうに眺めていました。

目的地に着くと、それぞれシヨップの中を見て回りました。B級品のお値打ちの物から、王室で使用されるような素敵で高価な物まであり、「こんな食器で食べてみたいわあ。」という声も聞かれました。

一通りシヨップをみた後は、皆でコーヒーなどを飲み、帰りました。

少し遠いため、時間がなく他のミュージアムなど見学することはできませんでしたが、普段外出を嫌がる方も別人のようにウキウキされ、いろんな話しをしてもらえたことがよかったです。

今度は是非、

他のミュージアムも見学ができ、ゆつくり出かけられたらいいなあと思います。

(西村真美)



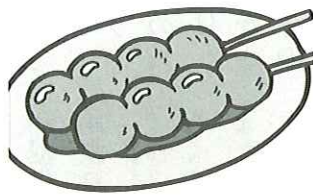
# 短期ほーむくすのむ

3月21日に「みたらし団子作り」をしました。団子の生地とタレは職員が作り、他は利用者の方に作っていただきました。

皆さんとても慣れた手つきで、「昔はよく作ったよ。」とたくさん昔話をしてくださいました。できあがった団子はとても美味しく好評でした。くすのきホールの花瓶には桜の枝がさしてあり花見もできましたが、皆さん「花より団子」という感じでした。

今回のみたらし団子作りはとても好評だったので、また企画したいと思います。

(林 君佳)



# デイサービスセンター

## 輪中の郷

### 『季節のおやつ作り』

当デイサービスでは毎月、季節に合わせたおやつ作りを行うようにしています。

今回は、よもぎを使って草餅を作りました。家庭では自分で作る機会が少なくなってきた利用者さんも作り始めると自然に手が動き出し、とても上手に作られます。みんななつかしい味に笑顔がこぼれ「これはうまい!」と誰一人残すことなく召し上がられ満足気でした。

自宅にこもっているとなかなか感じられない季節感をおやつ作り以外でも体験して頂けるようなレクリエーション作りをこれからも行なっていきたいと思えます。



デイサービスに新しい顔が加わりました。

自己紹介をして頂きました。



2月13日からデイサービスセンター輪中の郷で皆さんとご一緒させて頂いている秋田信一郎です。

デイサービスに来る前は不安な事だらけでしたが皆さんがとても優しく丁寧に接して下さいのおかげで、毎日皆さんにお会いできる事を楽しみにしています。これからも宜しくお願いします。

# 弥富町

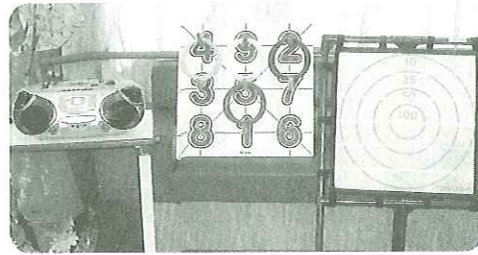
## デイサービスセンター

弥富町デイサービスセンターでは、室内レクリエーションの充実を考え、ターゲットゲーム・輪投げ・黒ひげ危機一髪ゲーム・ビーチボールと動画の出るカラオケCDラジカセを購入しました。

新しいゲームが沢山増え、室内レクリエーションが充実し、利用者皆さんの笑顔も増えました。「次は私が投げるわ。」と言われ、取り合いになりそうな勢いで言われる時もあり、新しい用具の導入により室内レクリエーションに幅が広がりました。

又、動画の出るカラオケビデオ・CDラジカセ購入により、マイクも2本増えた為、カラオケ時にも沢山の人がマイクを持って唄える様になり、皆さんで楽しんで頂いています。

今後、新しい用具を活用し、レクリエーションだけでなく、リハビリ訓練への応用も考えていきたいと思っております。



# 弥富いこいの里

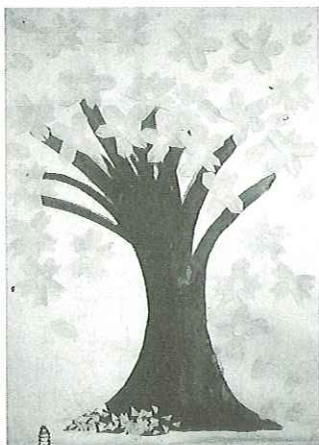
## 南デイサービスセンター

先日、桜の壁面を皆さんで作っていただきました。おかげさまで、一足早いきれいな桜を見ることが出来ました。

南デイサービスセンターでは、季節を感じていただく為に、壁一面季節のものを皆さんに作成していただいています。

節分には鬼、夏にはあさがお等を色紙を折ったり切ったりして、立派な作品が出来上がります。今は色とりどりのこいのぼりの壁面を作成中です。また、いこいの里付近では、たくさんのおつきが姿を見せてくれています。中には、つくし採りに行かれる方もみえ、春を満喫?していただいています。「つくしは卵とじが一番!」「あくを取ってから料理するんだよ」等、春の話題で持ちきりです。

今は、桜の開花を皆さん楽しみに待っているところです。



# 《台所の薬草》

最近、「医食同源」と言う言葉をよく耳にします。中国では古くより『正しい食事をしていれば病気にはならない。病気になったら食事を正せば良い』との考え方があります。毎日何気なく食べている

食材に意外と良い効能の有る事が分かってきています。この小さなスペースを利用して、少しずつ紹介させて頂きたいと思っています。

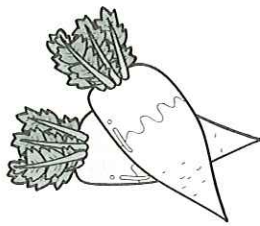
第一回目は「大根」です。

大根卸しを食べると胃がもたれないと言うのは、根の部分にでんぷん分解酵素「ジアスターゼ」などの消化酵素が含まれ、食べ物の消化を助けてくれます。また食物繊維が多く、皮には中心部より多くのビタミンCが含まれています。最近のスーパーでは葉の部分が捨てられています。B1・B2・C・カルシウムも含まれていますので、捨てないで利用し

たいものです。昔、葉を陰干しして、冷え性、神経痛、腰痛の入浴剤として利用された方もあったと思います。ビタミンCは加熱するとその働きが失われるので、生食が一番です。ただし、時間とともに損なわれるので、食べる直前におろしましょう。

我が家では夫や息子が大根をたくさん作った時は、切り干し大根にしています。食物繊維が多く、ミネラルも取れるので重宝しています。が、それより、手間をかけて作ってくれた大根をすべて食べたいたの気持ち大切にしたいからかも…。

(津崎久美子)



1月1日～3月31日



- ・木村春吉様
- ・榊田節子様
- ・小坂井 胖様
- ・成瀬克則様
- ・奈良明美様
- ・浅井正二様
- ・中川恵子様



# 編集後記

私がこの編集後記の担当になって、今回で4回目。毎回苦しい思いをさせていたいております。なぜかと申しますと、私は文章を書くことが大の苦手なのです。

学生時分、先生によく言われました。「まずは自分が思いつくままに書け。考えだしたら書けなくなるから。」と…これがまた何も思いつかないから、鉛筆が走らない走らない。それさえ出来たら、とりあえず書く苦痛なんて持たなかつたさ。

そこで私は、わらをもつかむ思いで一冊の本を手にしたのが、斉藤孝著『原稿用紙10枚を書く力』(大和書房)。まえがきで、私の胸をえぐった部分があります。

なぜ書けないのかと言えば、文章を書く訓練が決定的に不足しているからだ。それは考える訓練を重ねていないということでもある。

まさにその通り！今まで文章を書く機会はあまり無かったので、当然の現状です。

こんな私が本年度も担当致します。新年度の一番初めが、情けなく『ぼやき文章』。何卒ご容赦を。本年度もよろしくお願い致します。(みそちゃん)